

(20010402)

博報堂 2001 年度入社式

博報堂は4月2日(月)午前10時30分、東京都港区芝浦の本社に新卒採用者89名を迎え、近藤道生代表、東海林隆会長、宮川智雄社長以下、在京の全役員・役員待遇・部門長が出席して2001年度入社式を行いました。

新入社員が一人一人紹介されたあと、宮川社長が歓迎と激励の挨拶を送り、式を終了いたしました。

なお宮川社長挨拶の内容は別紙の通りです。

以上

2001年4月2日 株式会社博報堂 広報室

博報堂 2001 年度入社式 宮川社長挨拶内容

おはようございます。社長の宮川です。

本日、博報堂は、無限の可能性を秘めた 89 名の新たな仕事仲間を迎えることになりました。

心より歓迎いたします。

皆さんは、記念すべき 21 世紀の幕開けの年に、博報堂の一員としてキャリアをスタートされます。21 世紀とはどんな時代になるのでしょうか？

20 世紀は「科学と工業技術の時代」と言われています。科学における発明や発見が、工業製品として大量生産されることにより、人々の暮らしが豊かになった時代です。

これに対し、21 世紀は「情報技術の時代」になるだろうと言われています。情報技術は、生活者に膨大な量の情報を供給します。限りある生活者の時間は、情報量の増加に比例し、どんどん貴重なものとなっていくでしょう。企業間の戦いは、希少性を増す生活者の時間を、どれだけシェアできるか、そういう戦いになって行くと思われれます。

では、情報技術の時代において、博報堂にとって必要なものは何か。それは、広告主やメディアとともに「生活者に届く、価値ある情報」を創造し続けることです。

博報堂の果たすべき役割は、「広告主・生活者・メディアの三者が作る三角形」の中に入り、「生活者発想による鮮度の高い情報価値」を創造し続け、三者の関係を深めていくことです。ここでメディアと言っているのは、広告主の発信する情報を伝えるあらゆるものを指しています。環境が変わり、広告主、メディア、そして生活者と、それぞれがどう言う風になろうとも、この役割は不変です。博報堂は、この活動を通じ、広告主からパートナーとして信頼され、常に、第一に選ばれることを目指します。

博報堂の唯一で最大の商品は、皆さんの知恵と創造力によって生み出される「鮮度の高い情報価値」です。そして、この、「鮮度の高い情報価値を高次元で実践する力＝実施力」が備わることによって、はじめて、広告主からパートナーとして信頼される存在となります。

これは、何も広告主と接する立場に限ったことではありません。メディアや協力機関といったビジネスパートナーと接する場合も、現業業務を支える社内スタッフにおいても、まったく同じことが言えます。優れたプランニング力と同時に、最後まで実践する力があってこそ、本当の信頼関係が生まれます。そして、信頼関係があるからこそ、生活者にとって価値のある情報を創造することが可能になります。

優れたプランニング力、実践する力、信頼関係、この3つは切っても切れない関係にあることを、忘れないで下さい。

幸いにも、皆さんの先輩方の努力により、博報堂をパートナーとして選んでくださる広告主は、年々増えています。皆さんもどうか、一日も早く、信頼を勝ち得るプロとなって下さい。そして、鮮度の高い情報価値を創造し、博報堂の、そして生活者でもある皆さん自身の、素晴らしい21世紀を切り開いて行って下さい。

簡単ではありますが、皆さんへの願いを以って、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

以 上